

◎ CD3枚付き

本試験と同じ形式・問題数の完全模擬テスト3回分収録

日本語能力試験 スーパー模試 N2

Super N2 Level Practice Test for the Japanese-Language Proficiency Test

日本語能力テスト 超級模考N2

일본어능력시험 슈퍼 모의고사N2

監修 岡本能里子

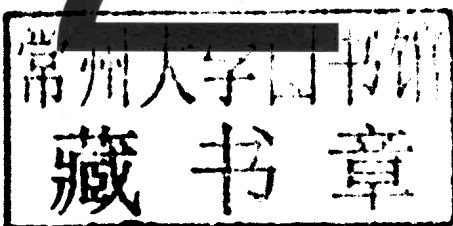
出題傾向を押さえた模擬テストを解いて得点アップ!

解けば解くほど本番に向けた実戦力を養成できる

合否判定がその場でわかる「模擬テスト記録票」付き

日本語能力試験 スーパー模試

N2



監修 岡本能里子

著者紹介：

岡本能里子（おかもと のりこ）東京国際大学国際関係学部 教授
石塚京子（いしづか きょうこ）埼玉大学国際交流センター 非常勤講師
上田安希子（うえだ あきこ）東京国際大学 非常勤講師
宇野聖子（うの せいこ）東京国際大学 非常勤講師
太田妙子（おおた たえこ）東京国際大学 非常勤講師
金庭久美子（かねにわ くみこ）横浜国立大学教育人間科学部 非常勤講師
齋藤佐和子（さいとう さわこ）秀林外語専門学校日本語科 非常勤講師
西島 道（にしじま みち）東京国際大学 非常勤講師
間柄奈保子（まがら なおこ）東京国際大学 非常勤講師

日本語能力試験スーパー模試N 2

2011 年 9 月 20 日 初版発行

監 修：岡本能里子

著 者：石塚京子・上田安希子・宇野聖子・太田妙子・
金庭久美子・齋藤佐和子・西島 道・間柄奈保子

編集構成：浅野陽子（創作集団にほんご）

発行者 平本照磨

発行所 株式会社アルク

〒168-8611 東京都杉並区永福 2-54-12

電話 03-3323-5514（日本語書籍編集部）

03-3327-1101（カスタマーサービス部）



デザイン・DTP：有限会社ギルド

C D収録：ELEC

ナレーター：大山尚雄／都さゆり／麦穂杏菜／雨澤祐貴

印刷所：図書印刷株式会社

© 2011 株式会社アルク

Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取替えいたします（定価はカバーに表示してあります）

PC：7011042

目 次

日本語能力試験について知る	6
この本の使い方	15
模擬テスト 第1回	
言語知識・読解	20
聴 解	50
模擬テスト 第2回	
言語知識・読解	62
聴 解	92
模擬テスト 第3回	
言語知識・読解	104
聴 解	134
聴解スクリプト	
第1回	145
第2回	155
第3回	166
模擬テスト 記録票	177

別 冊

解答用紙（マークシート）

第1回用／第2回用／第3回用

解 答

第1回／第2回／第3回

日本語能力試験 スーパー模試 N2

監修 岡本能里子



アルク
www.alc.co.jp

はじめに

本書は、2010 年から始まった新しい日本語能力試験対策のために作られた模擬試験です。2004 年に発売された『日本語能力試験 合格への道 2 級対策模擬テスト』をもとにしていますが、新試験が想定する能力に合わせ、すべての問題を見直し、話題も社会の変化に対応したものにし、作成しました。

新試験も、旧試験と同様、社会生活をする上で必要な総合的な日本語能力を測定するものである点は変わりません。しかし、旧試験が日本語の文字や語彙、文法についてどれくらい知っているかという日本語の知識を測定することに重点があったのに対して、新試験は、旧試験の想定する知識だけではなく、それらを実際の場面でどのくらい使えるかという総合的なコミュニケーション能力を測定するものになっています。そのため、旧試験より、実際に出会う多様な生活場面が設定されています。

このような、実践的なコミュニケーション能力を測定するという目的から、旧試験では点数の 4 分の 1 の割合だった聴解が、新試験では 3 分の 1 の割合になっています。新試験 N 2 は、旧 2 級とほぼ同等の言語知識が前提とされていますが、上記の測定する能力の変更に伴い、日常生活で出会う自然な会話が入り入れられています。また、読解も、幅広い新聞記事や論旨の明確な文章を読んで内容を理解するだけでなく、日常、目にする様々な文章から必要な情報を読み取るといった、新たな力が試される内容になっています。

本書の出題の仕方、誌面も、実際の模擬試験に近いよう工夫しましたので、本書を活用し、慣れておけば、本番でもあわてることなく、実力を発揮できるものと思います。

最後に、得点の計算方法も入れてあり、自己採点ができるようになっています。是非、使い方にそって時間や手順にしたがい、真剣に模擬試験をやってみてください。

みなさんの目的達成に、本書が少しでもお役に立てたら幸いです。

同シリーズの『日本語能力試験スーパー模試 N1』に続き、短い期間での本書の刊行は、問題作成メンバーのチームワークと、それを常に支え、伴走してくださる浅野陽子さんの忍耐力なくしては実現しませんでした。

この場を借りて心よりお礼申し上げます。

2011 年 9 月

岡本能里子

目 次

日本語能力試験について知る	6
この本の使い方	15
模擬テスト 第1回	
言語知識・読解	20
聴 解	50
模擬テスト 第2回	
言語知識・読解	62
聴 解	92
模擬テスト 第3回	
言語知識・読解	104
聴 解	134
聴解スクリプト	
第1回	145
第2回	155
第3回	166
模擬テスト 記録票	177

別 冊

解答用紙（マークシート）

第1回用／第2回用／第3回用

解 答

第1回／第2回／第3回

にほんごのうりよくしけん 日本語能力試験について知る

この解説は、^{かいせつ}国際交流基金と^{こくさいこうりゅうききん}日本国際教育支援協会が^{にほんこくさいきょういくしえんきょうかい}運営する、^{うんえい}日本語能力試験公式ウェブサイト
(<http://www.jlpt.jp/>) をもとにしています。

にほんごのうりよくしけん しけん 日本語能力試験とはどんな試験か

●日本語能力試験の概要

- 日本語能力試験は、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し、認定する試験です。
- 世界最大規模の日本語の試験です。
- 国際交流基金と財団法人日本国際教育支援協会が実施しています。
- 1984年から始まり、2010年からは、試験の内容を改定した新しい日本語能力試験が実施されています。

●日本語能力試験の目的

日本語を母語としない人の日本語能力を測定し、認定することを目的としています。

●主催者

- 国際交流基金と財団法人日本国際教育支援協会が共催で実施しています。
- 日本国内では
→日本国際教育支援協会 (<http://www.jees.or.jp/jlpt/>) が実施しています。
- 海外では
→国際交流基金 (<http://www.jpf.go.jp/j/>) が実施しています。
- 台湾では
→財団法人交流協会 (<http://www.koryu.or.jp>) が実施しています。

日本語能力試験を受験する場合の手続きは？

●だれが受験できるか

日本語を母語としない人なら、だれでも受験できます。年齢制限はありません。

●試験はいつ実施されるか

・年に2回、7月と12月に行われます。

・ただし、海外では7月の試験を実施しない国・地域があります。受験したい都市で7月の試験を実施するかどうかは、日本語能力試験公式ウェブサイト内の「海外の実施都市・実施機関一覧」(http://www.jlpt.jp/application/overseas_list.html)で確認してください。

・実施日程は、それぞれの試験の5カ月ぐらい前に発表されます。

●試験会場はどこか

・日本国内で受験する場合

→日本国際教育支援協会のホームページ(<http://www.jees.or.jp/jlpt/>)を見てください。

・海外で受験する場合

→国際交流基金のホームページ(<http://www.jpf.go.jp/j/>)または、日本語能力試験公式ウェブサイト内の「海外の実施都市・実施機関一覧」(http://www.jlpt.jp/application/overseas_list.html)を見てください。

・台湾で受験する場合

→財団法人交流協会のホームページ(<http://www.koryu.or.jp>)を見てください。

●願書はどこで入手するか

(以下は、日本国内で受験の場合です。それ以外の場合は、それぞれのホームページを見てください。)

・日本語能力試験受験案内(願書)は、それぞれの試験の4カ月ぐらい前に販売されます。

・日本語能力試験受験案内(願書)は、全国の大きな書店で販売されます。

●どのように申し込むか

(以下は、日本国内で受験する場合は、それ以外の場合は、それぞれのホームページを見てください。)

- 受験案内を読んで、願書に必要事項を記入します。
- 受験料を支払います。
- 願書を、受付センターに郵送します。

詳しくは、受験案内（願書）に書いてあります。

●試験の結果はどのようにわかるか

(以下は、日本国内で受験する場合は、それ以外の場合は、それぞれのホームページを見てください。)

- 試験の結果は、レベルごとに合格か不合格かを判定し、受験者全員に「合否結果通知書」が送られてきます。
- 合格者には、「日本語能力認定書」が交付されます。

日本語能力試験が判定するレベルは？

- 日本語能力試験のレベルは、N1～N5の5段階です。
- レベルによって試験問題が違っているので、自分でレベルを選んで受験します。
- 各レベルの目安は次の表のとおりです。

	レベル	認定の目安 各レベルの認定の目安を【読む】【聞く】という言語行動で表します。それぞれのレベルには、これらの言語行動を実現するための言語知識が必要です。
むずかしい ↑	N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる 【読む】 - 幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。 - さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。 【聞く】 - 幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。
	N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる 【読む】 - 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。 - 一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。 【聞く】 - 日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
	N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる 【読む】 - 日常的話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。 - 新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。 - 日常的な場面で目にする範囲の難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。 【聞く】 - 日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。
	N4	基本的な日本語を理解することができる 【読む】 - 基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。 【聞く】 - 日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。
やさしい ↓	N5	基本的な日本語をある程度理解することができる 【読む】 ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。 【聞く】 教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。

にほんごのうりよくしけん かもく
日本語能力試験の科目は？

●どんな科目があるのか

- N1とN2は「言語知識（文字・語彙・文法）・読解」と「聴解」の2科目。
- N3、N4、N5は「言語知識（文字・語彙）」「言語知識（文法）・読解」「聴解」の3科目。

●科目と時間

レベル	試験科目（試験時間）		
N1	言語知識（文字・語彙・文法）・読解 (110分)		聴解 (60分)
N2	言語知識（文字・語彙・文法）・読解 (105分)		聴解 (50分)
N3	言語知識（文字・語彙） (30分)	言語知識（文法）・読解 (70分)	聴解 (40分)
N4	言語知識（文字・語彙） (30分)	言語知識（文法）・読解 (60分)	聴解 (35分)
N5	言語知識（文字・語彙） (25分)	言語知識（文法）・読解 (50分)	聴解 (30分)

●解答のしかた

- 解答用紙（マークシート式）に記入します。正しい答えの番号を塗りつぶす形で解答します。
- 作文や会話の試験はありません。文を書いたり、話したりすることはありません。

●問題の構成と問題数

問題数は出題される目安ですから、実際の試験では多少異なることがあります。

●どんな能力を測るのか（N2の場合）

N2 大問のねらい

試験科目	問題の構成	
	大問	ねらい
言語知識・読解	文字・語彙	1 漢字読み 漢字で書かれた語の読み方を問う
		2 文脈規定 文脈によって意味的に規定される語が何であるかを問う
		3 言い換え類義 出題される語や表現と意味的に近い語や表現を問う
		4 用法 出題語が文の中でどのように使われるのかを問う
	文法	5 文の文法 1 (文法形式の判断) 文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができるかを問う
		6 文の文法 2 (文の組み立て) 統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てることができるかを問う
	読解	7 文章の文法 文章の流れに合った文かどうかを判断することができるかを問う
		8 内容理解 (短文) 生活・仕事などいろいろな話題も含め、説明文や指示文など 200 字程度のテキストを読んで、内容が理解できるかを問う
		9 内容理解 (中文) 評論、解説、エッセイなど 500 字程度のテキストを読んで、因果関係や理由などが理解できるかを問う
		10 内容理解 (長文) 解説、エッセイ、小説など 1000 字程度のテキストを読んで、概要や筆者の考えなどが理解できるかを問う
		11 統合理解 複数のテキスト (合計 600 字程度) を読み比べて、比較・統合しながら理解できるかを問う
		12 主張理解 (長文) 社説、評論など抽象性・論理性のある 1000 字程度のテキストを読んで、全体として伝えようとしている主張や意見がつかめるかを問う
		13 情報検索 広告、パンフレット、情報誌、ビジネス文書などの情報素材 (700 字程度) の中から必要な情報を探し出すことができるかを問う
聴解		1 課題理解 まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う (具体的な課題解決に必要な情報を聞き取り、次に何をするのが適当か理解できるかを問う)
		2 ポイント理解 まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う (事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができるかを問う)
		3 概要理解 まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う (テキスト全体から話者の意図や主張などが理解できるかを問う)
		4 即時応答 質問などの短い発話を聞いて、適切な応答が選択できるかを問う
		5 統合理解 長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が理解できるかを問う

出典 日本語能力試験公式ウェブサイト (<http://www.jlpt.jp/>)

合格・不合格はどのように決まるのか

●合格・不合格の判定

- 合格するためには、

- ①総合得点が合格点以上であること
- ②各得点区分（言語知識・読解・聴解）の得点が、それぞれ基準点以上であること

以上の①②が必要です。これは、バランスよく総合的な日本語の力を判定するためです。

- 一つでも基準点に達していない得点区分があると、総合得点が合格点以上であっても不合格になります。
- また、受験しない試験科目があると、合否判定は不合格となります。

●各レベルの合格点と基準点

レベル	総合得点		得点区分別得点					
			言語知識 (文字・語彙・文法)		読解		聴解	
	得点の範囲	合格点	得点の範囲	基準点	得点の範囲	基準点	得点の範囲	基準点
N1	0～180点	100点	0～60点	19点	0～60点	19点	0～60点	19点
N2	0～180点	90点	0～60点	19点	0～60点	19点	0～60点	19点
N3	0～180点	95点	0～60点	19点	0～60点	19点	0～60点	19点

レベル	総合得点		得点区分別得点			
			言語知識 (文字・語彙・文法)・読解		聴解	
	得点の範囲	合格点	得点の範囲	基準点	得点の範囲	基準点
N4	0～180点	90点	0～120点	38点	0～60点	19点
N5	0～180点	80点	0～120点	38点	0～60点	19点

出典 日本語能力試験公式ウェブサイト (<http://www.jlpt.jp/>)